

## メディアセンターによる企画展示

### 第31回 慶應義塾図書館貴重書展示会

#### 究極の質感（マテリアリティ）—西洋中世写本の輝き—

内容：慶應義塾図書館では、インキュナブラとともに西洋の書物文化史をたどるための重要な資料として、歴史ある手書き写本を長く収集してきた。今回は、さまざまな顔料や金で彩飾された手書き写本のもつ独特のマテリアリティ（質感）に焦点をあて、宗教写本、挿絵が美しい時禱書、修道院で制作された神学書など、多くの種類の写本を展示したほか、会場内に15世紀の写本の中の挿絵に基づいて作成された写字台のレプリカを置き、来場者が実際に座れるように工夫を施した。また新たな取り組みとして、慶應義塾ミュージアム・コモンズ協力のもと、LINEアカウントを通じて展示品解説や資料の拡大画像も提供した。会期中には、羊皮紙を使った写本制作の実際や、彩飾写本のマテリアリティに関する講演会、監修者によるギャラリートーク、さらには、羊皮紙に羽ペンを用いて実際に字を書くことができるワークショップなども開催し、多くの来場者に展示や催しものを通じて、手書き写本ならではの質感や重量感を楽しんでもらうことができた。（期間中の来場者は1,656名）

主催：慶應義塾図書館 協賛：丸善雄松堂株式会社

会期：2019年10月2日（水）～8日（火） 会場：丸善・丸の内本店4階ギャラリー

ギャラリートーク：10月4日（金）18時～、6日（日）15時～ 両日とも松田隆美（文学部教授）

講演会：10月5日（土）13時～「中世の紙『羊皮紙』のおはなし」八木健治（羊皮紙工房主宰）

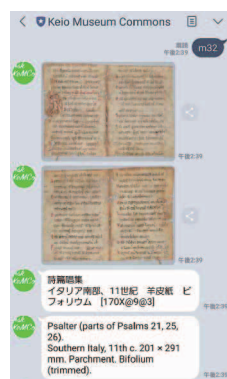
10月6日（日）13時～「西洋中世写本彩飾のマテリアリティ：彩飾の語る写本の“ヒストリー”」

駒田亜紀子（実践女子大学美学美術史学科教授）

ワークショップ：10月5日（土）15時～「羊皮紙に羽ペンで書いてみよう」八木健治（羊皮紙工房主宰）



ギャラリートーク  
(松田先生・展示監修者)



LINE上での展示解説



会場内 写字台レプリカ



ワークショップ（八木先生）



講演会（駒田先生）